

資料配布の場所・日時

筑波研究学園都市記者会
(資料配付)
日時：令和5年2月17日 14時



令和5年2月17日
国立研究開発法人土木研究所

洪水に関する国際会議を12年ぶりにつくばで開催します

国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)は、第9回洪水管理国際会議(9th International Conference on Flood Management: ICFM9)を、2月19 - 21日につくば国際会議場で開催します。ICFMの日本での開催は、第5回以来12年ぶりとなります。日本含めて40か国の洪水に関する専門家など約400名が参加します。

洪水管理国際会議(ICFM)は3年ごとに開催され、洪水に関する様々な問題を議論し、学術的・分野横断的に重要な変化を実現することを目的としています。本会議には、世界各国の様々な研究者や実務者が一堂に会し、最新の知見・情報・経験を共有する場として、活発な活動を行っています。



ICFM9では、“River Basin Disaster Resilience and Sustainability by all ~ ポストコロナ時代の統合洪水管理 ~”を大きなテーマとし、コロナ後の社会において、洪水に配慮した社会の再構築や、ハードおよびソフト対策を組み合わせ、気候変動を考慮した包括的かつ多層的な水災害リスク軽減に転換をどのように行うかなどに関して、発表および議論が行われる予定です。

なお、本会議の成果は、3月にニューヨークで開催される「国連水会議」の議論に反映されます。

【主な全体スケジュール】(詳細スケジュールは別紙-2、主な参加者は別紙-3参照)

2月19日(日) 9:15-10:15 開会式：五十嵐立青 つくば市長他 ご挨拶

その後全体会議、分科会、ポスター発表など

2月20日(月) 終日全体会議、分科会、ポスター発表など

2月21日(火) 10:30-12:00 閉会式：ICFM9 宣言発表

【場所】つくば国際会議場(茨城県つくば市)

【その他】使用言語：英語

【公式ホームページ】 <http://www.icfm9.jp/>

【問い合わせ先】

国立研究開発法人土木研究所 水災害研究グループ 上席研究員 栗林 大輔

電話番号 029-869-5083

第9回洪水管理国際会議（ICFM9）全体スケジュール

- 2月19日（日） 9:15-10:15 開会式
10:15-10:20 集合写真撮影
10:30-11:30 プレナリーセッション（全体会合）1
11:30-12:00 ポスター発表1
13:00-16:30、パラレルセッション（分科会）、特別セッション
- 2月20日（月） 9:15-11:30 プレナリーセッション（全体会合）2・3
11:30-12:00 ポスター発表2
13:00-16:30 パラレルセッション（分科会）、特別セッション
- 2月21日（火） 9:15-10:15 プレナリーセッション（全体会合）4
10:30-12:00 閉会式
午後 土木研究所・JAXA 視察（希望者のみ）
3日間通して、各企業による技術紹介ブースを展示
- 2月22日（水） 関東近郊洪水対策現地視察（2015年鬼怒川破堤地点、首都圏外郭放水路、渡良瀬遊水地）、防災科学技術研究所

第9回洪水管理国際会議（ICFM9）主な参加者

< 開会式 >

- Prof. Slobodan Simonovic, Chairperson of the ICFM Ad Hoc Committee
- 小谷元子、東北大学理事・副学長・国際学術会議（ISC）次期会長 【オンライン参加】
- 竹内邦良、山梨大学名誉教授

< 全体会合 >

- Dr. Johannes Cullmann, Director for SDGs, UN PGA Office
- Dr. Anil Mishra, Chief of Section, Hydrological Systems, Climate Change and Adaptation, UNESCO-IHP
- Prof. Rajib Shaw, IRDR Scientific Committee member and AP-STAG Chair
- Mr. Sahibzad Khan, Director General, Pakistan Meteorological Department (PMD) 【オンライン参加】
- Prof. Jun XIA, IUGG Fellow & Bureau member, President, China National Committee for IUGG, Academician of Chinese Academy of Sciences (CAS), Director, Research Institute for Water Security (RIWS), Wuhan University
- Prof. Ana Maria Cruz, Professor, Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University
- Dr. Valentin Aich, Senior Water and Climate Specialist, Global Water Partnership (GWP) and World Meteorological Organization (WMO)
- Davao, the Philippines: Dr. Anthony C. Sales, Regional Director, Department of Science and Technology (DOST) XI